



いなほ

荻崎学園 荻崎中学校便り
令和2年9月1日発行
No.6

1 学期の生活を振り返り目標・取組の修正を！

23日間の夏休みが終わり、8月24日から学校がスタートしました。今年の夏休みは新型コロナウイルスの影響で、いつもより期間が短いことに加え、自宅で過ごす時間も多かったと思います。生徒たちは計画を立て、規則正しい生活が送れていたでしょうか。学校生活の方は9月に入り、1学期終了まで残り約1か月となりました。ぜひ、この時期に、これまでの学習の様子や生活の様子をしっかりと振り返り、2学期に向けて目標や取組を修正してほしいと思います。

また、夏休み明けの Zoom を使った集会の中では、学校長より「新たなチャレンジをしていこう」という話がありました。「自信がない」「もし失敗したら」という気持ちから、なかなか一歩が踏み出せない人もあると思いますが、自分の言動を改善することで、新たに気づくことや理解できることがたくさんあります。自ら考え行動することは自分を成長させる一番の近道です。「授業の中でわからないところを必ず友達に聞く」「相手より先にあいさつを届ける」など、どんなことでもいいです。節目節目に、一人一人が自分を一歩前に進め、結果に関係なく、挑戦し続けた自分を大いに褒めてほしいと思います。

体育祭の練習が始まりました

9月11日(金)実施の体育祭に向けて、いよいよ練習が始まりました。今年のテーマは「**コロナに負けるな 距離はあっても固い団結**」です。3密を避けなければならないため、練習の方法も当日の競技もいろいろと制約はありますが、生徒たちが自ら話し合い、工夫しながら取り組んでいます。

また、8月27日(木)6校時に行われた体育祭の結団式では、学校全体で集合はせず、Zoom を使って選手宣誓を各教室に配信しました。こちらも例年とは違う形での実施となりましたが、各団の団長たちは勝利への熱い思いを宣言していました。

何もかもが新様式での取組のため、生徒は日々、不安や戸惑う表情を浮かべることがありますが、こんな状況だからこそ、例年以上に、生徒たちの自主性や意欲を感じます。みんなで作り上げる体育祭が成功するよう、これからも職員全員で支援していきたいと思います。



荻中生の善行に拍手

先日、9年生の足立碧太さん、塚本陸斗さん、鶴田風花さん、8年生の大澤海斗さん、八木沼諒人さんの5人が、下校途中に、高校生と自転車で事故を起こした友達を発見。個々がこのままでは大変だと判断し、協力して緊急対応(①ケガの状況から骨折の可能性があるため、荷紐と枝で腕を固定、②自転車が自走できない状態だったため担いで移動、③事故相手の高校生を学校まで誘導)してくれました。

遭遇した状況において適切な判断をし、行動するというのはなかなかできることではありません。本当に5人の行動は素晴らしかったと思います。これをきっかけに、ますます思いやりの輪が広がってほしいと思います。



部活動での活躍

○8月8日(土)に、茨城県卓球選手権大会ジュニアの部兼全日本卓球選手権大会ジュニアの部県南地区大会中学予選会が行われました。女子卓球部7年生の加藤ゆき乃さんが3位に入賞し、9月実施の県大会に出場します。

○8月16日(日)に行われた、第29回関東中学生選抜ハンドボール大会兼 JOC ジュニアオリンピックハンドボール大会関東地区予選会において、9年生の鈴木千尋さんが、茨城県の選抜メンバーに選ばれました。

2人の今後の活躍を応援しています！！



予選会の様子から



夏季交流戦の様子から